

大規模開発事業説明会開催結果報告書

平成 22 年 6 月 3 日

(あて先) 鎌倉市長



事業者 住所 鎌倉市鎌倉山一丁目23番1号
 氏名 医療法人森と海 理事長 黒田 俊
 電話 0467-32-2550
 代理人 住所 東京都中野区新井五丁目5番10-802号
 氏名 株式会社モリモトアトリエ 森本伸輝
 電話 03-6802-5041

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり報告します。

事業区域	地名地番	鎌倉市鎌倉山1丁目1799番7 他4筆
	面積	4838.21 m ²
説明会の開催日時		平成 22 年 6 月 1 日 10:00
説明会の開催場所		鎌倉山集会所
説明会に参加した市民の人数		17 人
添付書類		<input checked="" type="checkbox"/> 市民への説明内容 <input checked="" type="checkbox"/> 説明に使用した資料 <input checked="" type="checkbox"/> 説明会で出された市民からの意見 <input type="checkbox"/> その他

大規模開発事業説明会報告書

1. 市民への説明内容

- 1) 事業主代理である医療法人森と海 黒田専務による挨拶
- 2) 添付の資料に準じて、改築工事の概要を説明した。
- 3) 工事規模は既存敷地内での既存施設老朽化に伴う建替え工事である旨を説明した。
- 4) 工事上の留意点、資材等の搬入計画等の概要を説明した。
- 5) 工事工程表を説明した。

2. 説明会に使用した資料

別紙「林間病院改築工事近隣説明会 計画概要」参照

3. 説明会で出された市民からの意見

別紙「鎌倉山 林間病院 大規模開発に関する説明会」参照

平成 22 年 6 月 1 日

鎌倉山の皆様へ

医療法人 森と海 林間病院
理事長 黒田 俊

鎌倉山の皆様へお願い

日ごろより、林間病院の運営に、ご理解いただくとともに、数々のご迷惑を感受していただき、心より感謝申し上げます。

さて、私、黒田は平成 18 年 3 月 6 日、その数日前に他界した、叔母向山寿美子のあとを継ぎ、林間病院を運営させていただき、昨年、医療法人化が認められました。祖父向山孝之は昭和 10 年ごろ、当地に病院を開業いたしました。私も幼少期の夏休みは、この林間病院で虫取りや海水浴をしながら過ごし、祖父は私をひざの上に乗せ「将来お前がこの病院をやるといいな」と語っていたのを思い出します。

林間病院は、現在 90 床の精神科専門病院であります。以前、精神科は一般の方々がはばかる存在でした。しかし、近年は、例えば、高齢社会における認知症、あるいは鬱病、そして、いまや死亡原因の上位、増加の一途である自殺者も精神疾患が深く関与していることから、精神科は今や、大変身近なものになり、皆様の健康管理に欠かせない診療科となりました。

そして、この林間病院は鎌倉市唯一の精神科入院施設であります。ところが残念なことに、林間病院は度重なる改修を続けてはいるものの、設立当時、すなわち昭和 10 年当時の建物が相当な割合で残っており、耐震、耐火などの安全性の面で問題が生じ、このままでは近い将来、運営が難しくなる可能性があります。

そこで、このたび林間病院では、外来診療の充実も視野に入れた、全面的な建て直しを計画いたしました。しかし、立て直す際には、工事に伴って周辺住民の方々にご迷惑を掛ける可能性があります。新しい林間病院は鎌倉の精神科医療に今以上に貢献し、地域医療の一翼を担える、鎌倉山の皆様のお役に立てる医療機関になります。

以上の点をご勘案の上、鎌倉山の皆様に深いご理解をいただき、ご協力のほど、お願い申しあげる次第でございます。

また本日は、私の所用での欠席、大変申し訳ございません。この書面を持ちまして、お願いとご挨拶に代えさせていただきます。

林間病院改築工事近隣説明会

計画概要

平成22年6月1日

建築主：鎌倉市鎌倉山一丁目23番1号

医療法人森と海 林間病院

理事長 黒田 俊

設計者：東京都中野区中野5-68-8-408

株式会社モリモトアトリエ一級建築士事務所

代表取締役 森本 伸輝

施工者：未 定

林間病院改築(建替え)工事の概要

■はじめに

本日はお忙しい中、林間病院改築工事の説明会にご出席いただき、有難うございます。
この度、林間病院では病院施設の老朽化や耐震性の不足等の理由により、施設運営上の安全性、機能性の低下が顕著となり、施設の建替えを計画しております。工事中は車輛の通行や騒音、振動等をできるだけ抑え、ご迷惑の少ない工事となるよう努めてまいります。
つきましては、ご近隣、及び市民の皆様へのご理解とご教授を賜れますよう、計画の概要を説明させていただきます。

■計画にあたって

林間病院の既存施設は昭和10年に建設され、その後、増築や改修を繰り返しながら、使用されてきました。しかし、近年、医療法に基づく病院施設における整備基準の改定や耐震診断促進法に基づく耐震性の問題、及び施設内の諸設備や建築二次部材等の劣化等、施設の老朽化等により安全性や機能性の維持が難しい状況になってまいりました。そこで、この度、国が運用する医療近代化補助制度の平成22年度の適用が認められる運びとなり、施設の建替え計画を進める運びとなりました。

本計画は、現在の病院敷地内に医療法、建築基準法、消防法等、関係各法に準ずる施設基準で既存病院と同規模である90床の病棟、及び外来診療部を改築(建替え)いたします。また、病院として入院施設、及び外来診療の運営を継続せざるを得ない為、病院の運営を行いながら工事を進めることとなります。現在、設計を進めておりますが、ご近隣の皆様にご迷惑の少ない工法の検討や工事計画、周辺の景観に配慮した外部環境づくり等、より良い施設環境、周辺環境が築けるよう努めてまいります。工事期間中は工事車両が多く出入りする日もございますが、工事着手前、工事中を問わず適宜説明会等により、皆様のご意見を伺いながら進めていきたいと考えておりますので、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

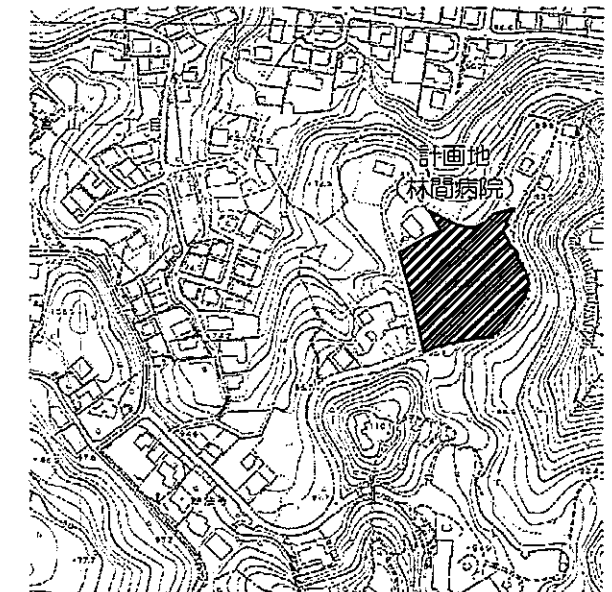
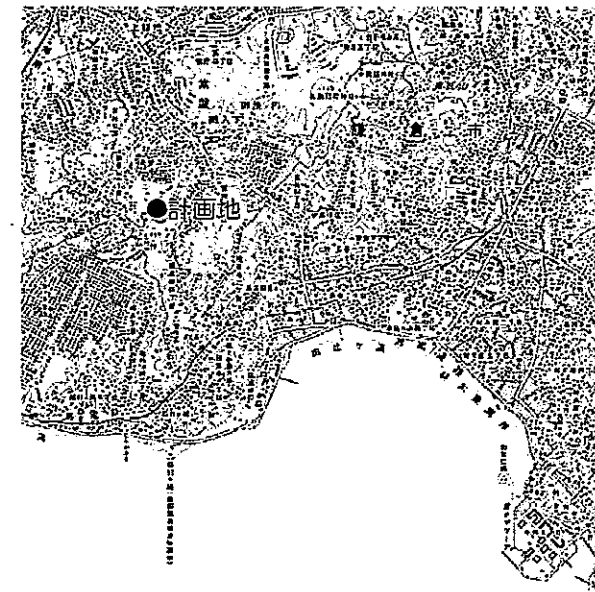
連絡先：医療法人森と海 林間病院 TEL 0467-32-2550 (大久保)
株式会社モリモトアトリエ一級建築士事務所 TEL 03-6802-5041 (森本)

■計画概要

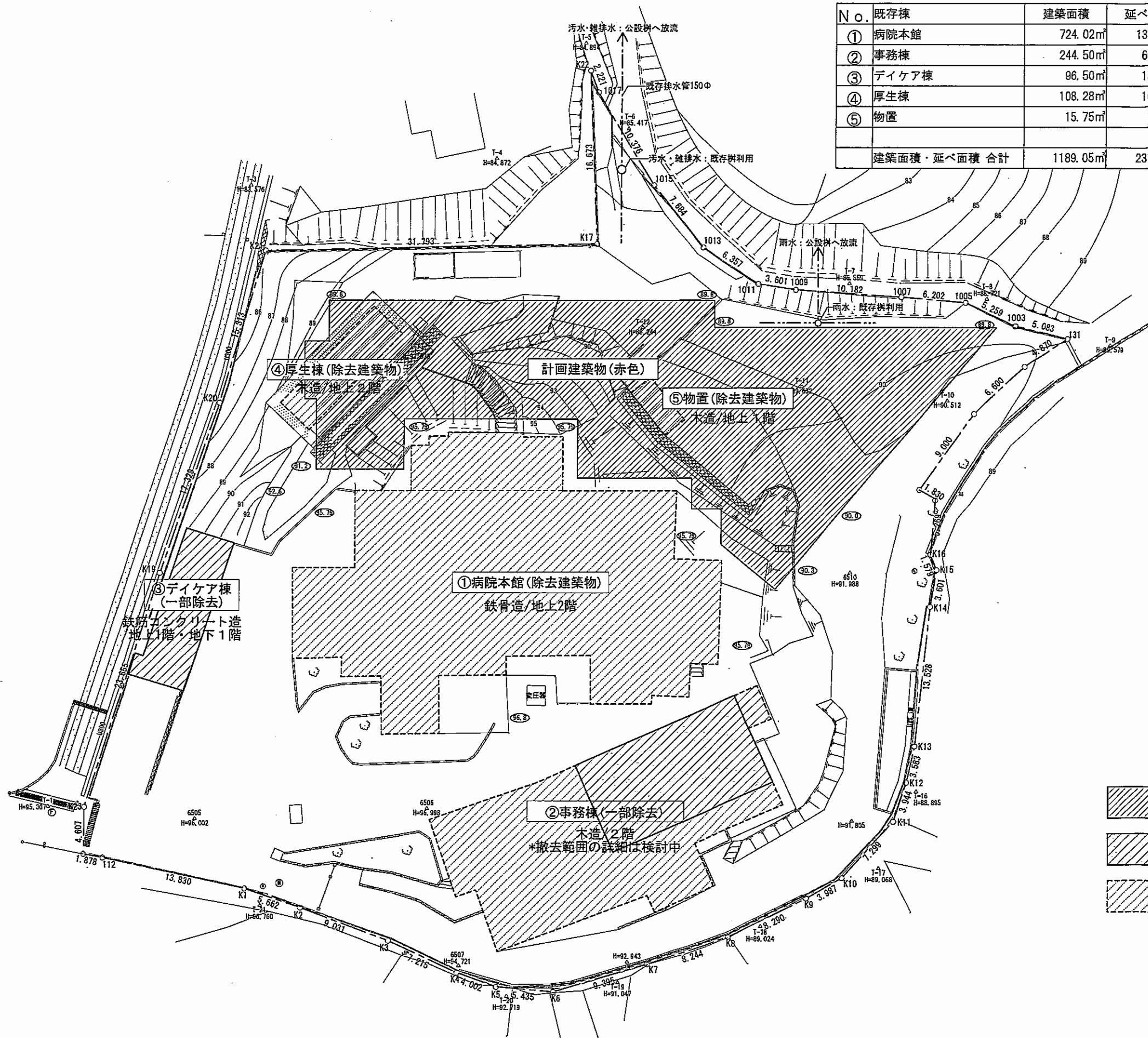
工事名称： 林間病院改築工事
工事場所： 神奈川県鎌倉市鎌倉山一丁目23番1号
都市計画： 市街化調整区域/第2種風致地区/自主まちづくり[鎌倉山地区]
用途地域： 指定なし：
その他： 鎌倉市まちづくり条例
構造・規模： 鉄筋コンクリート造 地上1階 地下2階


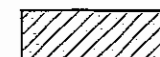
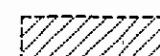
※階数は建築基準法に基づく階の設定です。(断面図参照)

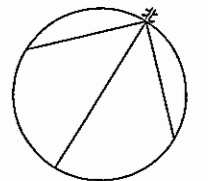
建物用途： 病院(90床)
敷地面積： 4838.21㎡ (現在：4838.21㎡)
建築面積： 1148.39㎡ (現在：1189.05㎡)
延べ面積： 2775.97㎡ (現在：2314.81㎡)
最高高さ： 7.97m (現在：10.85m)
基礎工法： 場所打ちコンクリート杭
予定工事期間： [準備工事] 平成22年7月1日～平成22年8月31日(予定)
[改築工事] 平成22年9月1日～平成23年6月30日(予定)
[既存解体] 平成23年7月1日～平成23年8月31日(予定)



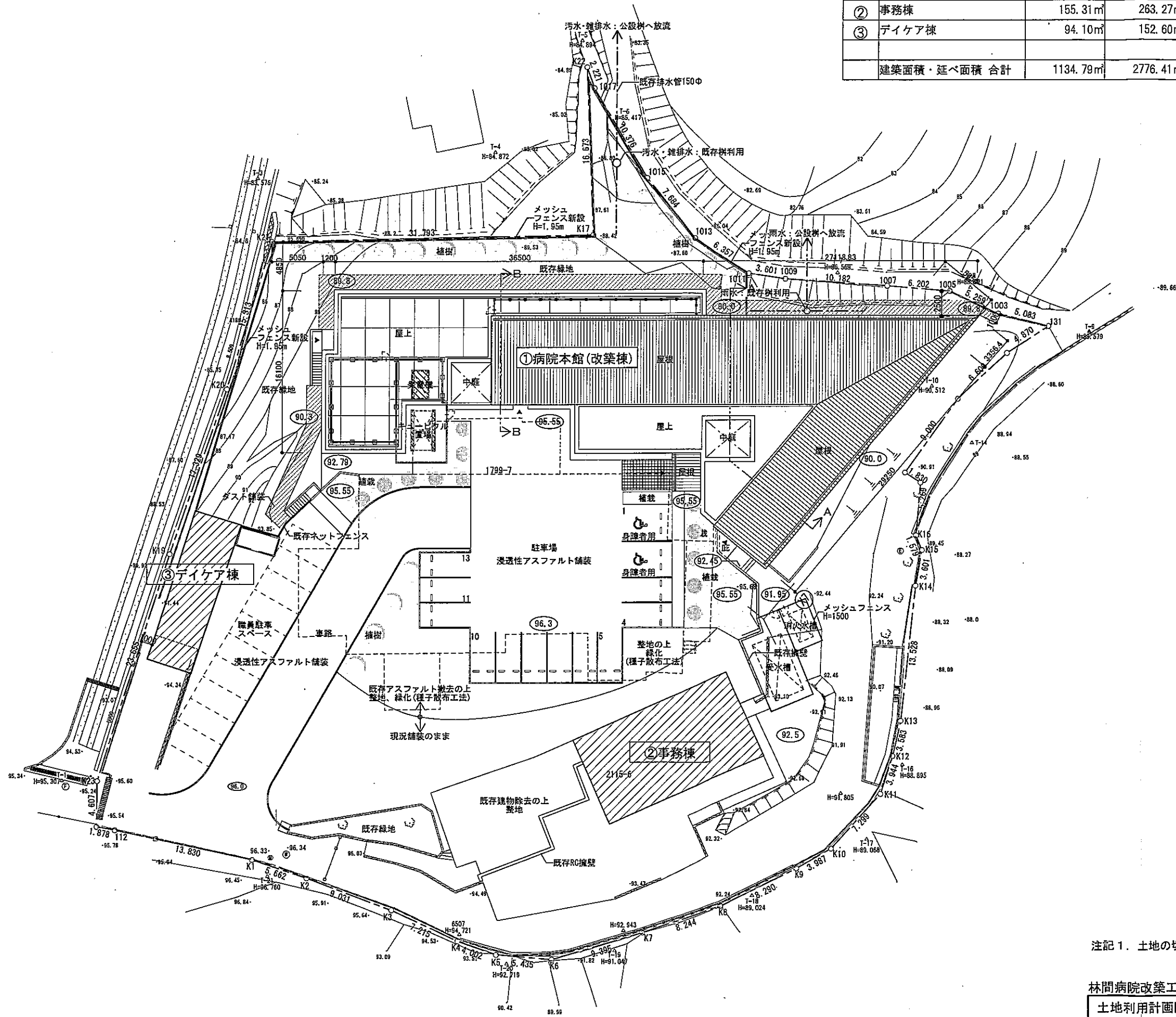
No.	既存棟	建築面積	延べ面積	建築年月	確認番号	構造	階数
①	病院本館	724.02㎡	1310.60㎡	不明		S造	2F
②	事務棟	244.50㎡	665.90㎡	不明	48.2879	木造	1F+B1F
③	デイケア棟	96.50㎡	155.00㎡	不明	46.2208/56.1413	RC造	1F+B1F
④	厚生棟	108.28㎡	167.56㎡	昭和58年	不明	木造	2F
⑤	物置	15.75㎡	15.75㎡	不明	不明	木造	1F
建築面積・延べ面積 合計		1189.05㎡	2314.81㎡				



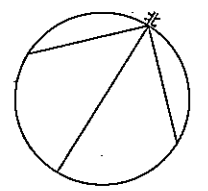
-  計画建築物(改築)
-  既存使用建築物(既存建物を継続して使用)
-  除去建築物(解体撤去する既存建物)

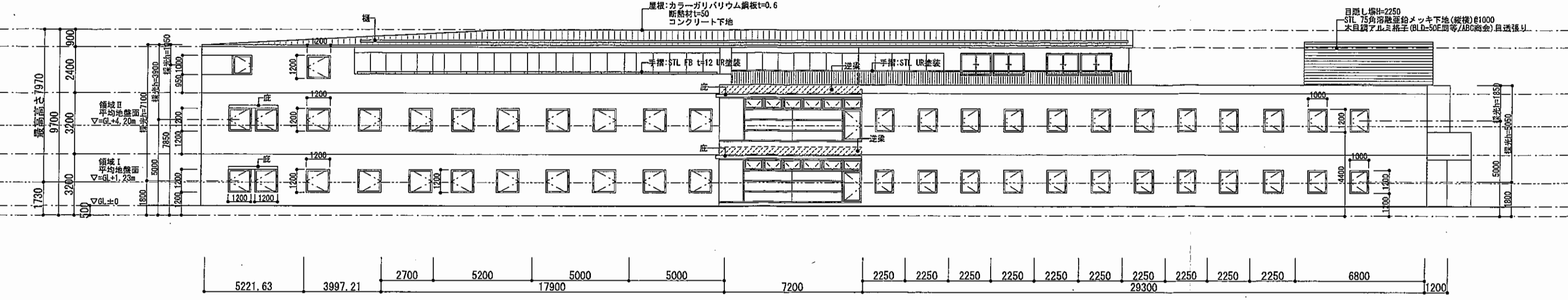


No.	施設名	建築面積	延べ面積	建築年月	確認番号	構造	階数
①	病院本館(改築棟)	885.38㎡	2360.54㎡			RC造	B2F/1F
②	事務棟	155.31㎡	263.27㎡	不明	48.2879	木造	2F
③	デイケア棟	94.10㎡	152.60㎡	不明	46.2208/56.1413	RC造	2F
建築面積・延べ面積 合計		1134.79㎡	2776.41㎡				

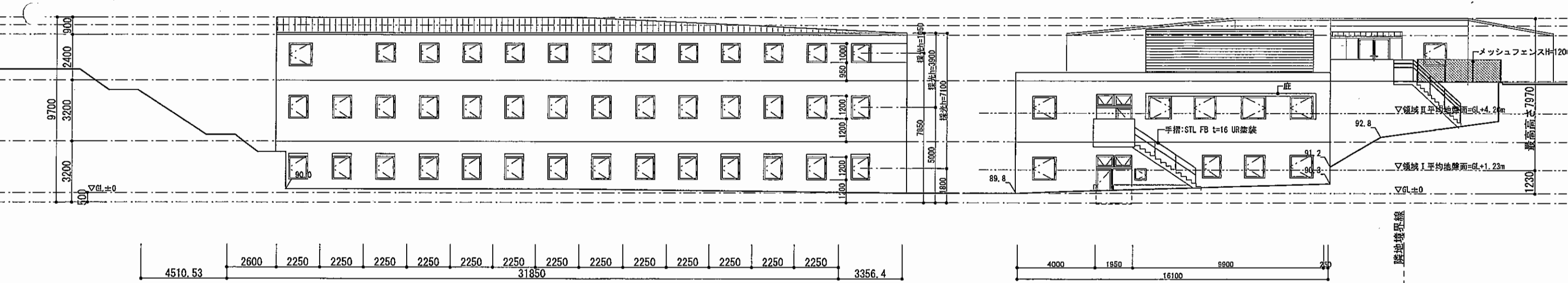


注記 1. 土地の切土、盛土無し



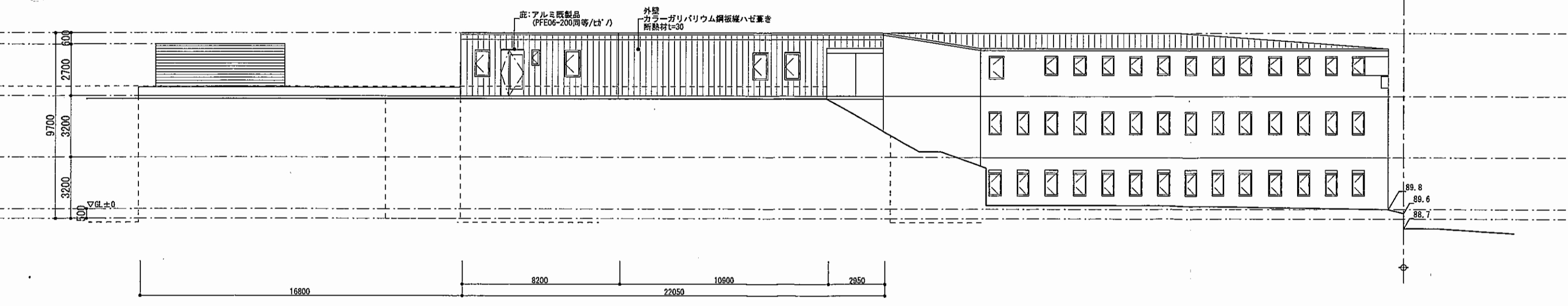


北立面図



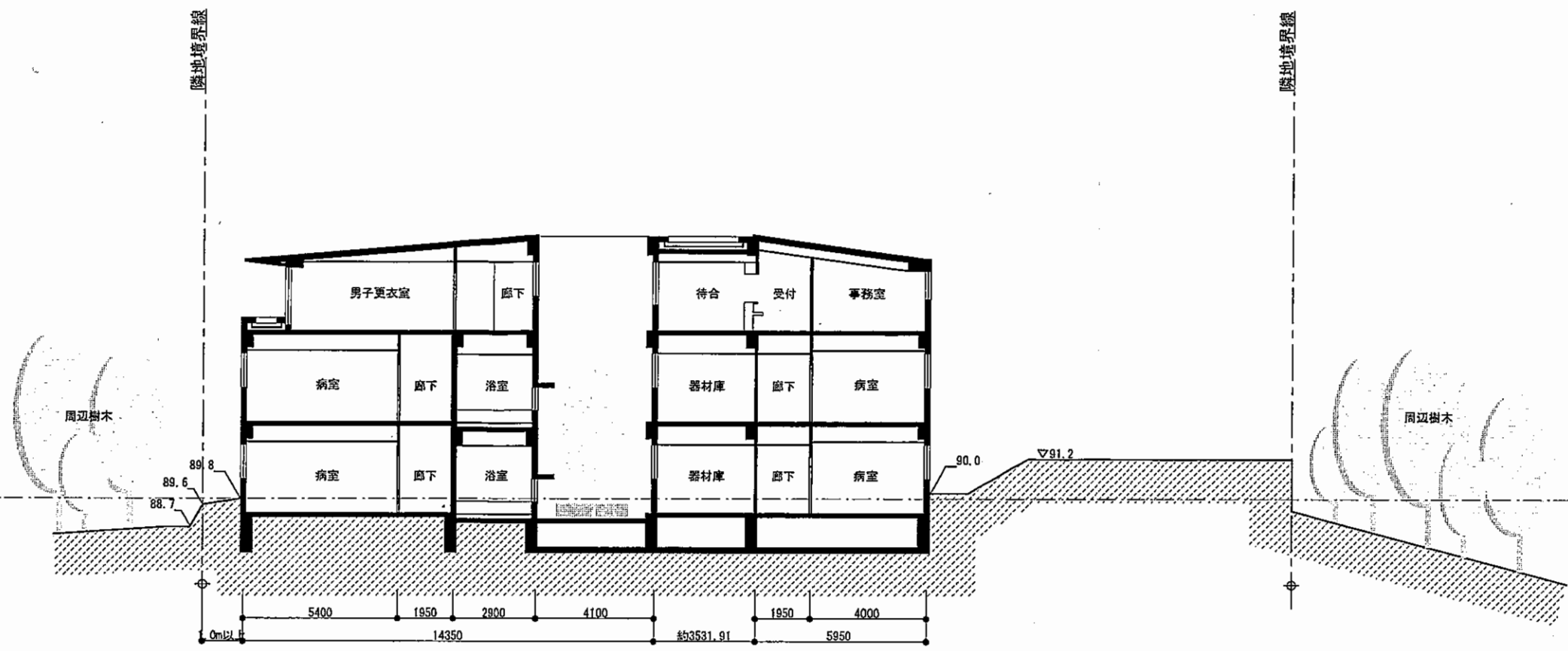
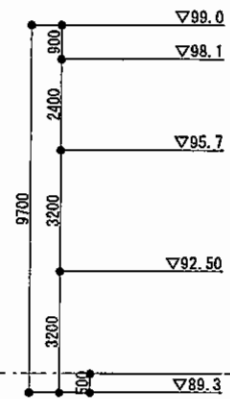
東立面図

西立面図



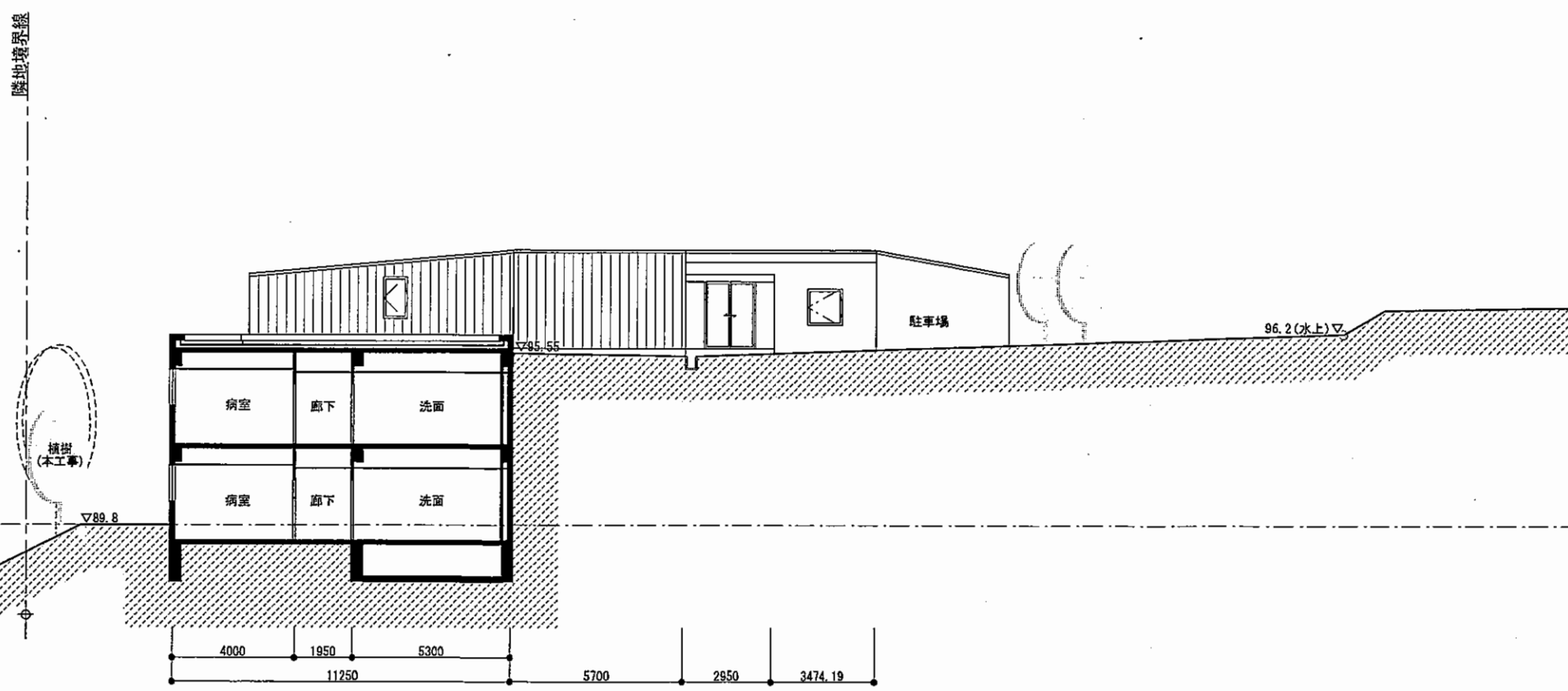
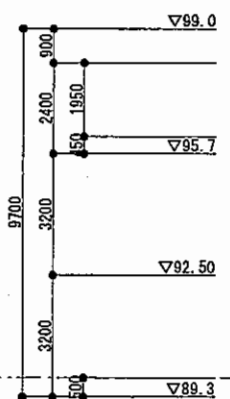
南立面図

99
98
97
96
95
94
93
92
91
90
89
88
87
86
85
84
83
82
81

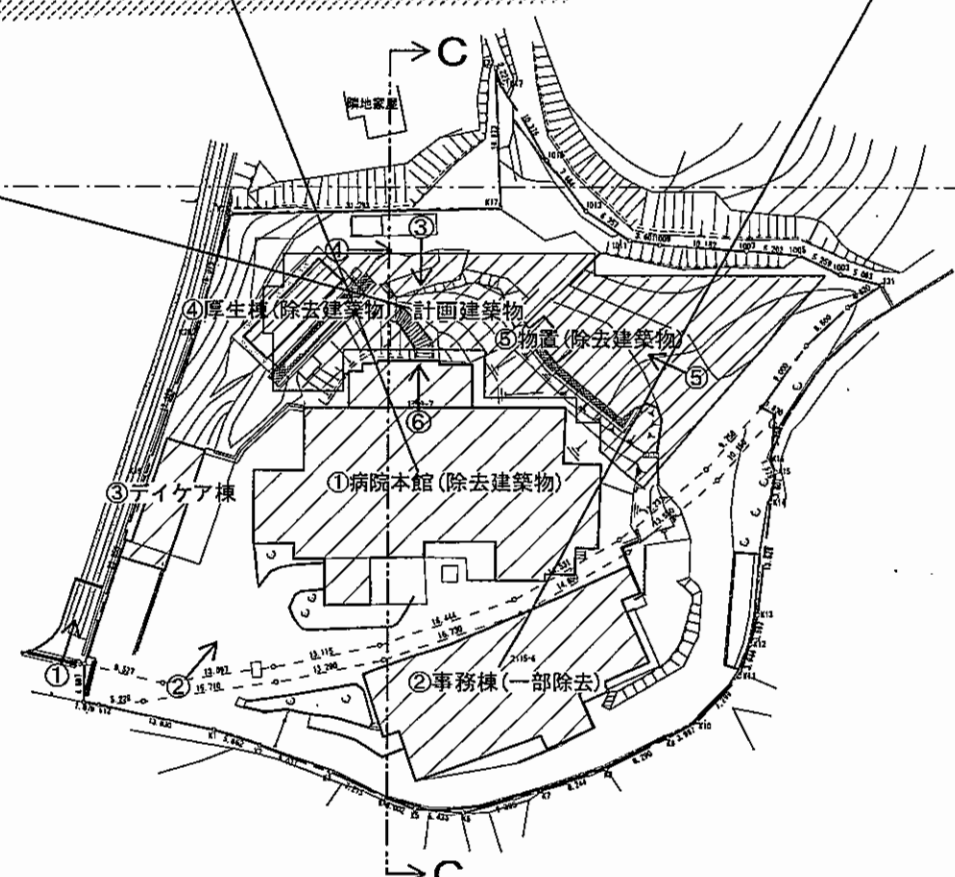
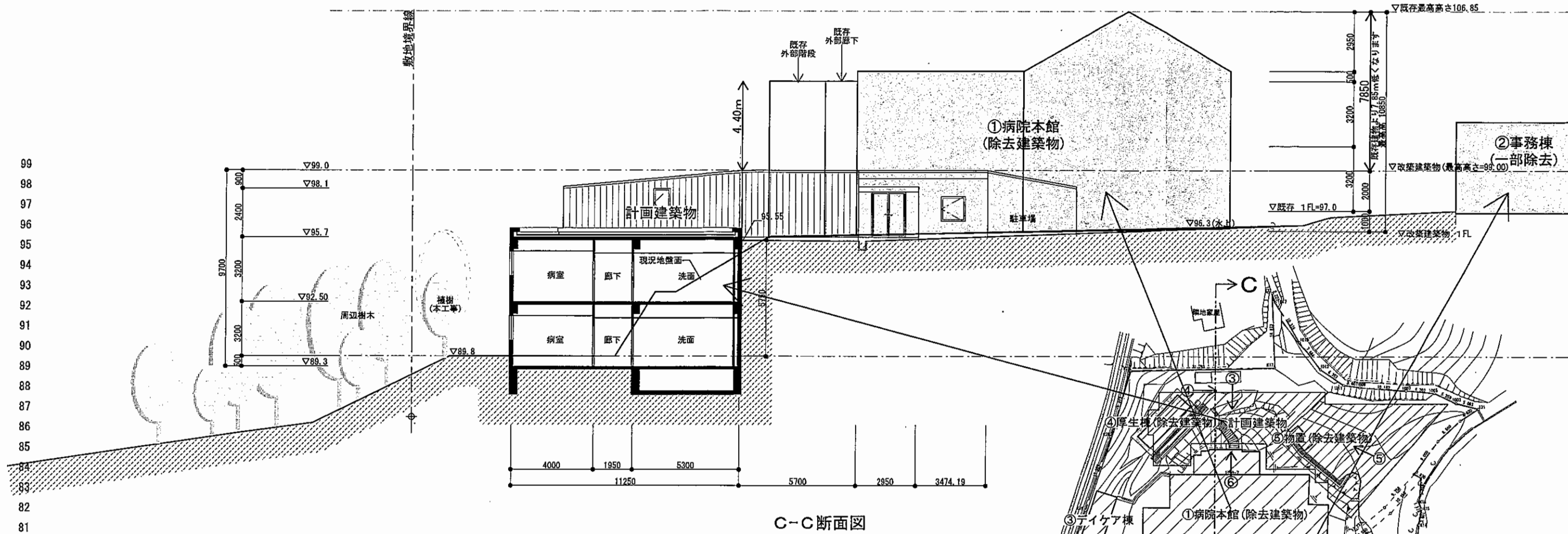


A-A断面図

99
98
97
96
95
94
93
92
91
90
89
88
87
86
85
84
83
82
81



B-B断面図



①隣地境界沿いの私道を見る



②既存建物-南面(鉄骨造/2階建)



③既存建物-北面(手前が建設地)



④敷地北側(建設地)



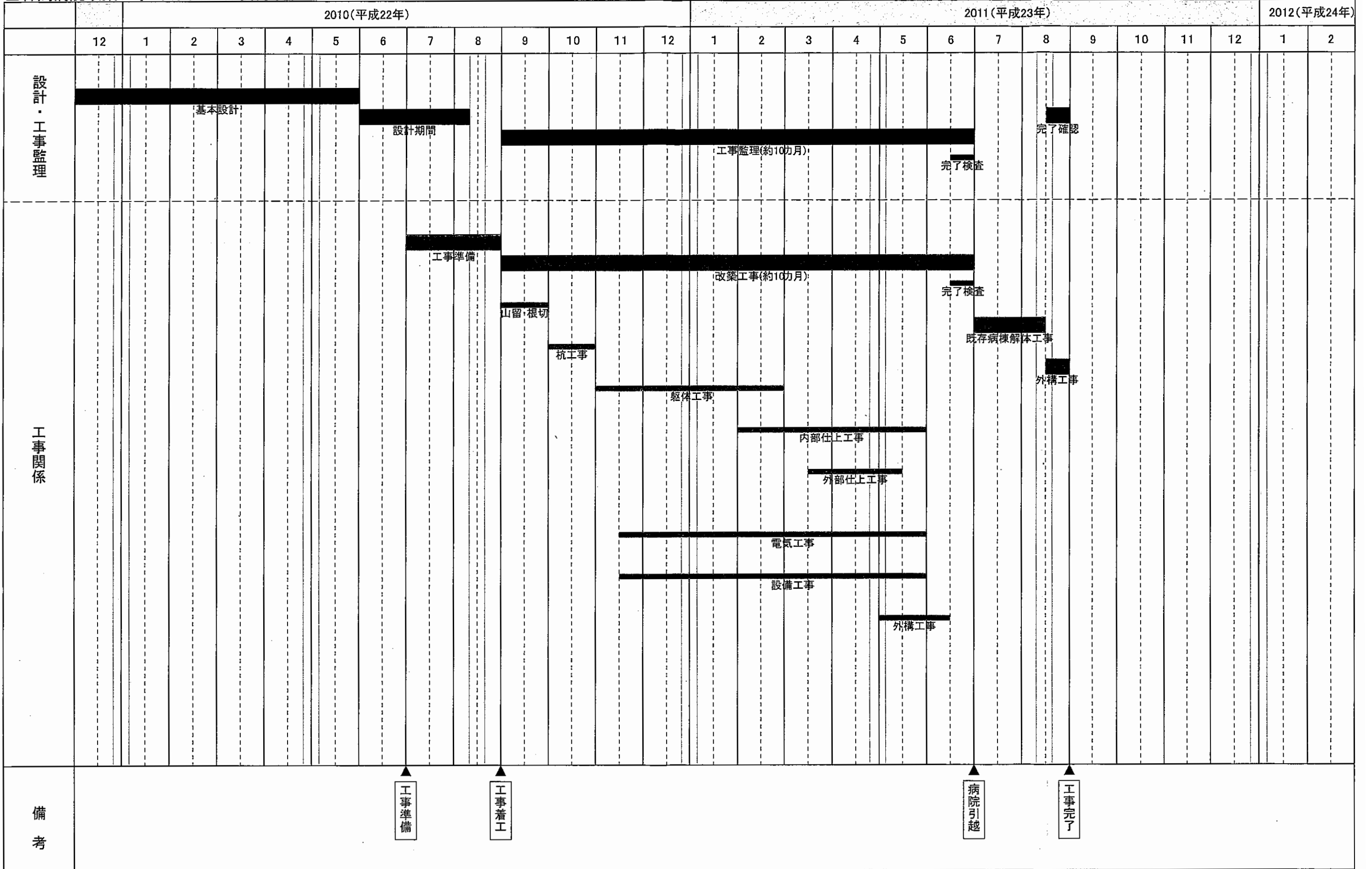
⑤敷地北側(建設地)

■林間病院改築工事 スケジュール表(予定)

設計作業

建設工事関連

2010年6月1日



林間病院改築工事

100601

工事工程表(3階建案)

添付資料-6

株式会社 モリモトアトリエ 一級建築士事務所

一級建築士 第272638号 森本伸輝

■工事計画について

今般 ご近隣の皆様と搬入路近隣の皆様には、多大なご迷惑とご心配を掛けることとなりますので業者への徹底指導をする為、業者への見積り条件として、下記の内容を添付致します。また、今回の皆様から頂いたご意見、ご要望につきましても反映し、指導して参ります。

1. 工事作業時間

1日の作業時間は原則午前8時から午後5時30分までとします。尚、工事の都合により大幅な時間延長及び、早出をようする場合は事前にお知らせ申し上げます。

※工事の都合とは＝（コンクリート打設など作業を途中で止められない工事/音の出ない工事/搬入搬出のない工事など）

2. 工事作業日

日曜日は原則として作業はいたしません。また祝祭日・土曜日等は 頻繁に搬入搬出する工事は、原則行いません。尚天候等で工事に変更が生じ、近隣にご迷惑のかかる工事を行う場合は、事前にお知らせ申し上げます。

3. 工事搬入計画

搬入路につきましては、バス通り八千代商店角からの搬入で計画を行っております。搬入路は狭く、また坂道となっている為、近隣の皆様に対しての配慮を十分に考えた計画を皆様にご意見を伺いながら作成いたします。

※なお僭越ではありますが、搬入路近隣の皆様への配慮した搬入計画案を、提出させていただきます。

■搬入計画案の説明

1. 搬入搬出日時

- ・日曜・祝祭日は残土搬出、生コン打設等の搬入搬出は行いません。
- ・特殊車両の通行時間は8：30以降（ポンプ車以外）で行います。
- ・生コン車・残土搬出車の通行は、原則8：30～午後5：30までとします。

2. ガードマンの配置

- ・常時2名 配置は別紙 イ点・ウ点（搬入予定の時）
- ・大型6トン以上 が4台搬入搬出時 2人 伴走者1名
- ・4t残土・4t生コン・車10台以上の搬入搬出時は3人 ア点・イ点・ウ点
- ・4t残土・4t生コン・車30台以上の搬入搬出時は3人 ア点・イ点・ウ点 交代要員1名

3. 車の選定理由

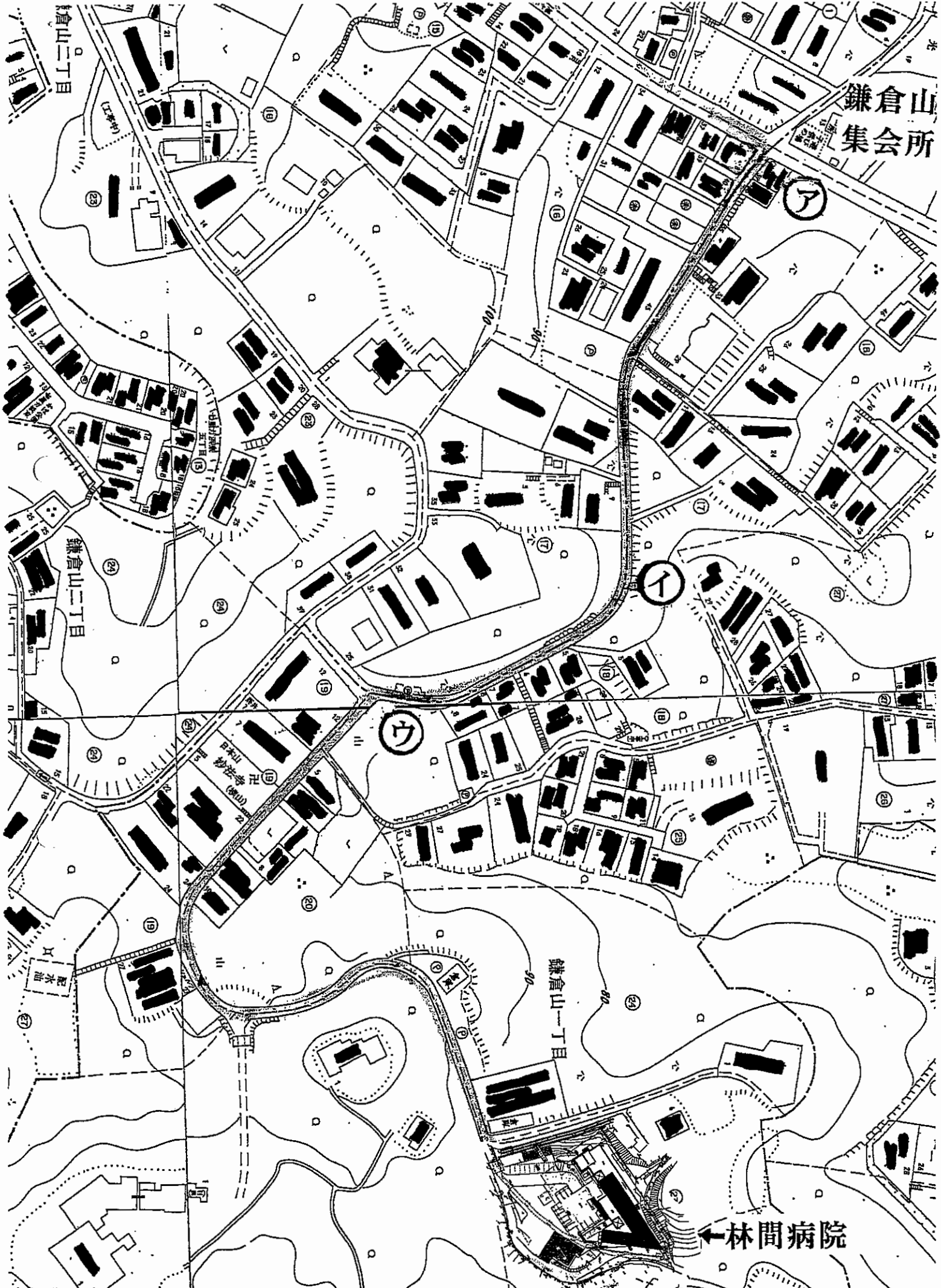
- ・今回の工事での残土搬出および生コン打設車は4t車（小型車）で行います。
- ・車は重量によって運搬量も違ってきます。
- ・（質量÷車の大きさ＝車の台数） 車の大きさと車の台数は反比例になります。
- ・4t車（小型車）はこの搬入路ですれ違いが出来る車です

4. 特殊車両

- ・4t車以外の特殊車両は、掘削機械/山留めの機械/杭工事の機械/クレーンの機械ポンプの機械などです。大きさは、別紙の通りで、すれ違いは出来ませんのでガードマンを配置し、誘導致します。

5. 搬入台数

- ・1日の生コン車の台数は、1時間当たり6台前後で計画を行います。
- ・1日の残土車の台数は、1時間当たり4台前後で計画を行います。



林間病院改築工事搬入路計画案

鎌倉山 林間病院 大規模開発に関する説明会

平成22年6月1日

参加者 設計士 森本 荒井組 野崎 林間病院 理事 黒田 美香
設備課 川越 書記 総務課 大久保
近隣住民の皆さま 17名

配布資料は別添付

1. 開会の挨拶

司会進行 モリモトアトリエ 森本。 本日のこの会は、鎌倉市まちづくり条例に基づき、近隣の皆様および市民の皆様に向けての説明会です。計画、スケジュール等、皆様の意見を参考とし、できる限り反映していきたいと考えておりますので、宜しくお願いいたします。録音、撮影の許可お願いいたします。

2. 理事挨拶

黒田美香より。御忙しいところ、林間病院 改築に関する説明会への出席ありがとうございます。三代目の運営で、昭和10年より病院を開業しております。これまで増築や改修を行い使用して参りましたが、老朽化や安全性等に問題が生じており、今回、同敷地内に新しい病院を建替えることとなりました。設計はモリモトアトリエが進めておりますが、施工業者の選択はまだである為、本日は、東京の病院でお世話になっており、林間病院のメンテナンス作業等をお願いしている荒井組にアドバイザーとして出席してもらっております。

3. 理事長挨拶

本来ならば、理事長からの挨拶ですが、東京の病院の管理者となっており、本日は出席できず、理事により書面を代読させていただきます。以下、朗読。

質問1：■■■さん 建替えた後の形は？

インターネットでは、124床となっているが、今後はどうなるか？

理事回答

90床のままです。叔母が無くなった時点では、昔の医療法では患者様御一人に対し4.3㎡であり124床でした。しかし、現在は医療法改正により6.4㎡/床の基準となり、90床になっています。

質問2：■■■さん

今の規模とかわらないのですか？

森本

これから、計画概要について資料をご覧くださいながら説明いたします。

4. 改築工事概要説明

森本

資料が全員に行きわたっているか確認。

正面に張り付けた大きな資料に基づき、概要、計画等、どうやってできあがるか説明した。

近隣の皆さまに説明させて頂くのは、今日が初めてですので、説明の途中でも質問してください。

では説明を開始します。

設計者はモリモトアトリエ、施主は林間 施工者は未定です。

はじめに。理事からの説明の通り、昭和10年からの運営で、増築や改修、部分補修等を繰り返して使用してきましたが、医療法の施設基準や耐震性、建築基準等現在の施設基準に合わない状態であり、安全性、耐震、設備の老朽化等により、建替える運びとなりました。近隣の皆さまには、搬出入車輛等の御迷惑をおかけいたしますが、ご理解とご協力をお願いいたします。今年3月に国の医療近代化補助制度の内示を受け、建替え計画をスタートさせ、現在設計を進めております。豪華な施設でなく、建築基準法、医療法の施設基準を満たすことを念頭に現在と同じ病床は90床のまま、入院、外来等も現在と同じ施設機能のまま計画しています。また、入院患者や通院する外来患者の治療等を継続しなければならない為、病院の運営を行いながら、新しい病院を建設することになります。設計においては周辺の環境や道路状況を考慮し、搬入搬出、騒音、振動等が皆さまにご迷惑のかからないように工法や構造を検討しています。工事計画については、後ほど詳しく説明いたします。不明な点はこちら左下の連絡先まで宜しくお願いいたします。

4・1 計画概要の説明

森本

計画地を地図で参照いただき、正面の大きな地図にて計画地を指し説明する。

配布資料の計画概要を読み上げて説明する。

現在の林間病院の敷地内に同じ敷地形状、敷地面積でほぼ同規模の建物を建替える計画です。工事名称敷地面積は現在と同じです。

建築面積は約40㎡少なくなります。

延べ面積は約1.2倍弱になります。理由は、医療法の改正で入院患者1人に対する病室の必要面積が6.4㎡確保しなければならないこと、廊下幅は手摺の内側の寸法で1.8m確保する必要があること、デイケア、作業療法室の設置義務がある等、施設基準によるものです。

最高高さは現在より約3.0m低くなります。実際はもっと低くなりますが、後ほど資料で説明させていただきます。

基礎工法は場所打ちコンクリート杭とし、現場で穴を掘ってコンクリートを打設する方法で、他の工法と比較し振動、騒音が少なく、既成杭のような大きな資材の搬入はありません。しかし、コンクリートを運ぶため、生コン車の出入は必要です。

資料に基づき工事予定の説明をする。

準備工事は建替え予定地の樹木の伐採や物置、フェンス等の撤去等を行います。

改築工事は病院の本体を建設する工事です。

既存解体工事は新病院が完成した後、引越を行い既存の病院や事務棟を解体撤去する工事です。

質問 3 ; ■■■さん

既存の部分を保存のままとあるが、患者さんの精神的悪化につながりかねない？

理事答え

入院タイプでは、措置、保護、任意があり。林間病院では任意入院の患者様が多いので、重度の症状である措置入院の患者様は少ない。その為、過度に反応する患者様は少ないと思います。

4-2 既存配置図の説明

森本(正面の大きな図面を示し説明する)

青色の破線で囲まれハッチが入っている部分が既存施設です。

真ん中が現在病棟で入院施設です。鉄骨造 地上2階。事務棟は事務室の他、外来診察を行っております。・・・等。ダイケア棟、厚生棟、倉庫等、現況を説明。

赤色の線で囲まれ赤色のハッチになっているところが、新しい病院施設になります。運営を継続しなければならない為、敷地内のまとまった空地である北側の傾斜地に計画しています。面積、構造等の明記してある部分を説明。

黒い線で囲まれ赤地になっている部分は既存施設を継続使用する予定の部分です。ダイケア棟全体と事務棟の一部を使用します。事務棟はおそらく倉庫等として使用します。

4-3 建替え後配置図。

森本

縞の部分が地上3階建、他部分は地上2階建、既存部分敷地は駐車場や緑化とする計画です。(正面の大きな配置図を示し説明する)。景観面では、樹木の植樹を計画(図示)。

現在の建物に関する説明をする。

斜面に計画する為、遠くから見た場合約7.85m低くなります。(正面の大きな断面図を示し説明する)。樹木は建物の前に植樹し、景観として建物を目立ちにくくすると共に、患者様からも後近隣が見えにくくし、樹木を使用した視線の緩衝帯を予定しています。

図面下の写真を説明

本館写真：道路を突き当り林間病院に入った部分。

本館の裏の写真：増改築を繰り返した結果、設備等が露出したり、鉄部の錆等目立ち、老朽化が進んでいます。

建築予定地の写真：(写真の方向を図面で示す)こちらから見たところ。反対側から見た場合。

敷地内、緑化。草地も多いので、新たに人工的な舗装等せず、自然を生かしてゆきたい。

質問4 : ■■■さん

崖の危ないところに病棟を建てて、駐車場に後々新しい建物が出来ないか？また長い住民ではないが、

何十人の患者が散歩している場面と出くわしこわかった。敷地内で散歩できないか？道はできませんか？病気の患者さまの散歩ができるような設計ができると幸い。森と海というわりには、緑を大事にしてないのではないかと感じる。駐車場が一番にいい場所にあるように感じる。

回答：森本

計画地ががけ地である為、地質調査を十数か所実施し、基礎の設計を行っています。土質による摩擦力や地耐力等を考慮し、慎重に設計を行っています。建築の構造体も土圧の影響を受けるため、それらの条件を踏まえた構造設計を行っています。

■■■さん

是非、散歩できる森をつくってください。

理事答え

現在、近隣での大規模な散歩は実施しておらず、今はリハビリとして、鎌倉市内含め、他地域への外出を主に行っています。職員を数名配した小規模な散歩は復活している。

駐車場が残ったとしても、他に使用は考えておらず、また、土地は所有しているが、宅地という地目ではなく、山林となっているため、新施設の建設は不可能です。

質問5：■■■氏

概要はつかめました。すぐ下に住んでいるのですが、かなりの急斜面で、雨がふる度に土砂が流れ込む。少しでも近付かないでほしい。詳細設計までできた？

森本

設計の途中です。

質問6：■■■氏

なんで我が家に近づくのか？駐車場に建つならいいのに。理解できない。市に対する交渉なら、もっと交渉をすればいいのではないかと感じる。

回答：森本

まず、新しい病院施設を建てた後、既存病棟の患者を移す必要があり、その後既存病棟を除去する為、必然的に駐車場にならざるをえません。また、鎌倉市唯一の精神科病院である為、工事中の患者の受け入れ施設の確保は困難、また敷地周辺は仮設の病棟をつくることさえできない地域です。

■■■氏：今の病院門から、市の市道が入っているそれが問題なのですか。

森本：それも問題です。

■■■氏：それを解決してくれ。

■■■氏：等価交換でかえると聞いたので、いま、市道を舗装した結果雨水がU字溝に流れてくる。道路の方を、先に整備して欲しい。市との交渉ごとでしょ。

森本

市とは、昨年から交渉しています。

■■■■氏

交渉が甘いのでは？

いずれにしても、工事の被害をうけるのは間違いなし。現在はなにもしなくても傾斜部分が崩れて来る

森本

建物は地質調査を行い、支持地盤に杭で支持するか、直接支持地盤に乗せるため、傾斜地には影響が出にくいとされておりますが、慎重に検討いたします。

■■■■氏

境界の確認をするときは歩けたが、今は歩けない。そんな状況である。コンクリート塀を撤去してほしい。

塀撤去すると水が流れてくる・・・

森本

検討いたします。

質問6：■■■■さん

東京にアメリカンクラブの事例がある。プレハブを建て、入院施設を移してから工事を行えば現在のよ
うに山の上の景色のよいところに病院が建てられるのではないか？工事も2、3年で終わるのではない
か？

回答：森本

工事期間が長くなります。また、仮設のプレハブ病棟を建設するだけでもかなりの資金がかかります。

■■■■さん

代替地ないの？市は協力しないのか

回答：森本

病院の建替え計画ではまず、ご指摘された事項等を検証いたします。

昨今の社会的志向では景観や建築の規制や市民の意識が高い鎌倉市では現在の病院の資金力での代替
地への移転、及び仮設病棟による事業計画は不可能と判断しています。

市とは交渉を行っておりますが、特例的な協力はありません。

質問7：■■■■氏

道を解決してから海側にたてたら？

現在林間病院の敷地内で市と道の付け替えを予定している部分には、この地域の給水を担っている神奈
川県の水道管があり、公道つくるためには現況の調査、県と市それぞれの予算化、法的な問題等があり、
具体的な予定が立たない状況です。

施設の老朽化や耐震性の問題、安全な施設環境の確保等、入院されている患者の環境を考慮すると、早急な対応が求められます。

■■■氏

事務棟側の敷地に建てればいいのでは？

森本（正面の大きな配置図を示し説明する）

使用できるスペースはこの範囲ですが、新しい病院を整備する為の基本的なスペースが確保できません。

■■■氏

分散させられないの？

分散させて、渡り廊下でつないだら？

現在の事務棟の場所はいいところではないか、使わないの？

周辺に大きな敷地があるでしょう？

なんでそこに建てないの？

森本

周辺の所有地は様々な角度から検討し、市とも協議を繰り返し行いました。都市計画法が変わって市街化調整区域で地目が宅地以外の場所には医療施設が建てられなくなりました。接道の条件を含め周辺所有地での計画は不可能という結論になりました。

■■■氏

長い目でみたら、大きい敷地に建設したほうがいいのではないかな。交渉が足りない。崖に寄らないで考えて欲しい。

森本

棟を分散させるのは運営上難しい。

現在の計画は患者の入院環境を最小限に抑え、周辺環境へも配慮したプランである。

質問8：■■■さん

災害時に、患者様はエレベーターがないと出られないのではないかな？

回答：森本

1番下の階は直接地面に避難できます。その後外部の通路で道の部分まで避難します。

2番目の階は病棟の両端に設けた階段、通路で地上に避難します。

1階直接道路の高さの地盤に避難します。

2階は比較的自力で動ける人が入院しています。1階は認知症の方が多いので直接外に出られるよう計画しています。

質問：■■■さん

鎌倉山は崖がくずれやすいので心配。実感としてわかっていただけない。人ごとでない。感覚がわかってない。

建築に携わっているひとが、鎌倉で自宅半壊した経験の人の話きいた。集会所下の崖地のマンションが売れるかみているが二年たっても売れていない。

回答：森本

木造の場合は基礎を地盤面から60cmくらい下に支持させます。鎌倉山の地層、計画地の地質データの結果を参考に考えると、表土が約2~3mあってその下に堅い地層である支持層があります。このような場合降雨が表土に浸透したり、支持層と表土の間に雨水が溜まると地滑りを起こしやすくなり、建物の倒壊に繋がります。今回の計画のように鉄筋コンクリートの建物では地質データの検査結果を基に土質や土の強度等を特定し、国の定める指針に沿って基礎の設計を行うため、一般的には安全とされています。また、支持層に杭を造り、その際に滑り等の検討を行い安全を確認して進めております。

質問：■■■■氏

南側は全面窓です。窓と窓が近いストレスを感じる。

土地の価値も下がる。眼と鼻の先になるし、常にみられるので、そっちはよくても、こちらは困る。私たちは毎日生活している。

森本

隣地境界からは5.0m離しており、■■■■氏の自宅部分付近は2階建てになるよう配慮して設計しています。また、病室の窓も■■■■氏の自宅付近はガラスに乳白色のフィルムを貼ります。

計画の経緯としては法律や条例の規制に準じて設計を行い、代替地や敷地の拡張等が難しい為、やむをえず現在のような規模や形態となりました。

今後、詳細なご説明や検討を行います。

■■■■氏

きりが無い。納得ゆくようやってもらおう。市がからんでも、ちゃんとやってもらおう。

質問8：■■■■さん

工事になったときに、トラック台数は？

回答：森本

1時間に5~6台になります。

工事に関する内容は資料の工事計画に記載してありますので、そちらで説明いたします。

4-4 工事工程の説明

森本

工事計画の説明に移る前に添付の工事工程表の説明をさせていただきます。

(シートの参照箇所を示し説明)

ブルーの線は設計作業、グリーンの線は工事です。

工事の予定は今年の7月から準備工事に入ります。準備工事は建替え予定地の樹木の伐採や物置、フェ

ンス等の撤去等を行い、8月末までの予定です。その後今年の9月から改築工事を開始します。改築工事は病院の本体を建設する工事です。平成23年の6月末までを予定しております。まず、9月からの1ヶ月で掘削作業を行います。掘削した土砂は敷地内にストックし、土は敷地内で消化できない量のみを搬出いたします。10月から杭工事に着手する予定です。工事場所で杭を作成する場所打ちコンクリート杭で計画しております。これは直径約80cmの穴を支持層まで掘り、鉄筋を組んだ後コンクリートを流し込み造ります。その後、来年2月末まで躯体工事です。病院の構造体を造る工事で、鉄筋を組み、その周りに型枠というものを造り鉄筋コンクリートを流し込みます。

躯体工事完了後、内部仕上工事、外部仕上工事を予定し、工事が完了した後完了検査を受け、病院の引っ越しを行います。

既存病棟解体工事は来年7月1日から病院の引っ越しをした後、既存建物の解体、撤去工事に入ります。

質問9：■■■さん

トラックの大きさは？

回答：森本

生コン躯体工事で4トンの生コン車を使用する計画です。

4トンの生コン車はバス通りから林間病院までの道ですれ違えるサイズであり、これより小さいのでは、生コンの積載量が少なすぎて倍以上の車両が通行しなければならなくなります。その為、4トンの生コン車を選択いたしました。

4-5 改築工事搬入経路計画説明

計画説明。紙面参照の上説明

作業時間 午前8時30分～5時30分を原則としております。

日曜日はしません。天候で変更生じる場合は事前に報告します。搬出入の計画は、八千代商店角から経路となります。コンクリートの打設日は1時間に5～6台程度の交通量となるよう計画しました。特殊車両は8時半以降。ガードマン配置、基本2名配置。

6トン以上が工事中に何回かあるが、搬送者に無線を持たせ誘導しながら搬入する。その際は通行車両を止めて行うことになる見込みである。特殊車両は1日に何度も出入りしない車両です。

質問10：■■■さん

隣が工事をして、生コン車がすれ違いできず、大変な思いをした。

回答：野崎

鎌倉の生コン会社所有の車は大体4トンである。この辺りの生コン会社は4トン車が主流で大型の生コン車を持っているところは少ないようです。

■■■さん

すれ違う為に、近所のあまっているところの敷地を借りるように交渉したらどうか？

私たちがきっちり通してください。

林間からでてくる車がスピードを出している。お宅の職員さんだけでなく道を誤って入った通行車両

もありますが・・・お互い様だから。

理事

職員は減速させます。周知徹底させます。

■■■氏

1日どのくらいのコンクリートの打設を予定しているのか

野崎

通行量等に配慮し1日100㎡以下で計画しています。1フロアのコンクリート打設を2～3日に分けて行わなくてはなりません。

質問10：住民

特殊車両とは何か

野崎

工事期間中、工事の内容が変わるときに特殊車両を使用します。掘削時に使用するユンボはトレーラーに載せて搬入します。トレーラーは7トン位のボディを予定しており、このサイズであれば通行が可能と考えております。特殊車両の通行時は誘導員や搬送者等の配置に配慮した通行計画を考えております。また、道路わきの空地の使用ができるよう土地の所有者様と交渉し、敷地をお借りしたいと考えております。

質問10：住民

大きな桜は伐採？

回答：森本

我々も残したいと考え計画当初より検討を続けておりましたが、先にもお話ししたように、施設基準や条例、法律の規制が厳しい中、どうしても残せない現実がありました。やむなくお清めを行い伐採する予定です。

住民

許可おりののですか・・・

■■■氏

ここは絶対くずれる。

仮説の計画、本説の計画と、2パターン作って。7月の計画では、今の説明遅いでしょう・・・

森本

建替えを実現する為には補助金が必要です。補助金の内示がでたのが今年3月でした。市等の開発関係の協議は昨年から、大枠での協議はそれ以前から進めていたようですが、それらの条件により、今年の3月からこれまで作成した計画案を基に具体的な作業を進めました。補助金の適用を受けられるかどうか

か毎年審査を受けるため、今回の機会を逃した場合、今後どのようになるか不明です。政権交代等の影響もあり、今回の手続きも遅れがちであり、来年度の実施は未定とのことでした。補助金は建築費の1億弱となり、補助金の有無は事業全体に影響が及びます。

理事

病室に使うところのみ補助金の対象となり、事業予算の約20パーセント位を占めます。去年の7月からお願いして、内示は今年3月でした。

■■■■氏

年度内に使い切るのか

森本

基本的には年度内に使用することになります。この工事規模でしたら一般的な場所なら十分年度内に工事が完成いたしますが、鎌倉市の場合、本条例やその他の規制が厳しく、現時点でぎりぎりのスケジュールです。

■■■■さん

何十年使うわけなの、急がれてはこまる。合意して、納得して進めて欲しい。急がないで。

理事

基本にご納得いただいてから工事を進めます。市の条例により本日の説明会を行いました。課題は持ち帰って検討いたします。

■■■■さん

病院には理事長はいなくてもいいの？

理事

黒田の母の実家と向山は疎遠でした。向山は遺言状や子供もなく突然亡くなった為、一族で話し合い黒田俊が後を継ぎ理事長になりました。その時期、黒田俊は東京の病院で管理者という立場であり、林間病院の管理者にはなれませんでした。叔母の向山がなくなって、病院は医者しか継げなかった為、当時小西が院長として病院の管理者となり、黒田俊が理事長を務めることとなりました。現在は精神科医の岡田が管理者で理事長が黒田となっておりますが、緊急時の対策として理事、及び院長が対応できる体制で運営しております。

■■■■さん

なにかあった時時間がかかり、相談する相手がいないのではないかと。

理事

問題あったら基本的に私(黒田美香)と院長岡田が対応します。

■■■■さん

病院そのものについて、黒田理事長の文章に誤りがあり、昭和10年は結核病棟でした。精神病棟になるときに話があり、65床とのことでした。しかし、ベッド数も増えたし。私は小学校の頃、脱走した患者さんに遭遇し、とても怖い思いをしました。安全も考えてほしい。安全面も考えて。町内会へ文章をください。崖地でも大丈夫というが、呑気な意見です。我が家はちゃんとしていても敷地が地滑りを起こして脆い。いくら建築上大丈夫といっても、崖そばでは非常に危険。患者様にとっても危険。我が家は土手でも危ない。杭は打ってない。

森本

現在の病棟は崖の上なので危険です。

新しい病棟は崖を背にして、その負担分も考慮した設計になっております。

従前の木造住宅は地質調査を行わず杭も使用しておりませんが、建築基準法は大きな地震毎に改正されより安全になっています。現在の木造住宅は地盤調査を行い必要な場合は杭を打っています。また、崖の崩壊のメカニズムの様々な角度で研究され、そのデータに基づいて構造基準が作成されており、現地状況等を判断し、設計を進めております。

■■■さん

鎌倉山の土壌はもろいです。ローストビーフの下は、崖崩れで一家が全滅しました。

■■■さん

林間病院が万が一の時は助けに行くが、患者まではおあずかりきれない。なんで崖にたてる？今の状態の方があぶない？

森本

岩盤についても熟慮し設計を進めていますが、もっと検討をいたします。

■■■さん

一部崩しながらでは？いいものを建ててもらいたい。

反対しているわけじゃあないけど。住民を巻き込んで建替えたら？

条件が整わないとむずかしい。

なんで駐車場に建てないの？

森本

既存病院の建替えはとても難しい事業です。都内では敷地に余裕がなく様々な規制によって、病院の運営ができなくなるが閉院病院が増え、地域住民が困っており、各地においても医療崩壊の一因となっています。医療法を管轄する厚生労働省と建築基準法、耐震診断促進法、都市計画法を管轄する国土交通省との指導や考えの違いでそのような現実が生じており、形は違いますが本計画も似たところがあります。

様々な角度から検討した結果、現在の計画となっております。ぜひご理解をお願いいたします。

理事

今日は計画の概要を報告させていただきました。持ち帰って検討いたします。今後は回覧版等をまわし

て、説明会等の報告をさせていただきたいと思います。

■さん

このままゆくの？7月から工事？

塾をしております子供の出入りがありますが、安全考えスクールバスとか考えたい。

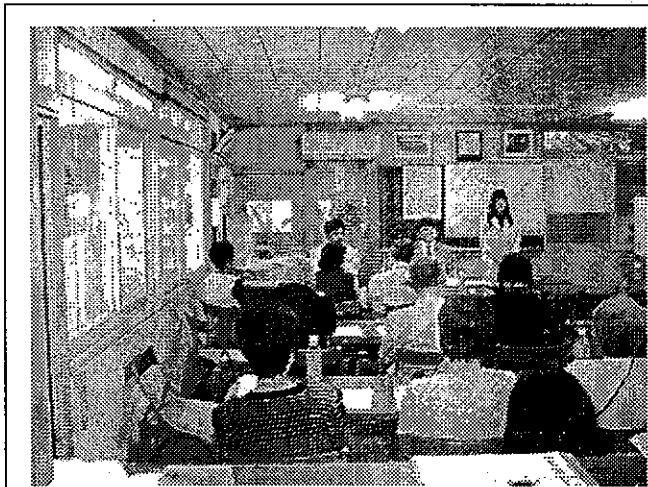
理事

またご連絡いたします。

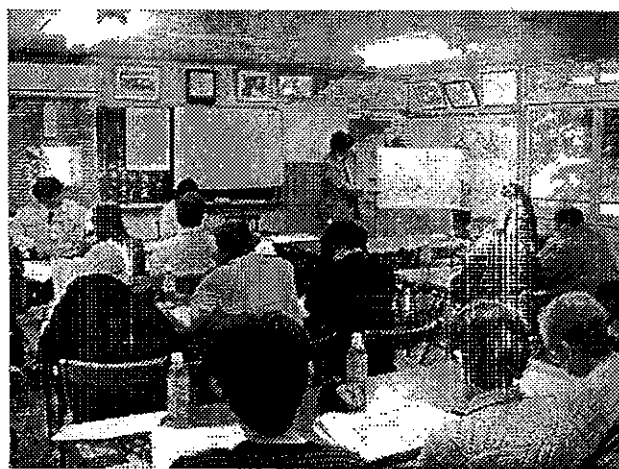
5.閉会の挨拶：森本

今回は最初の概要説明でした。今後、何回か任意の説明会を継続的に開催したいと考えております。ご意見等を伺い参考にさせていただきながら計画を進めてまいります。本日は御忙しい中、ご足労いただきありがとうございます。

説明会の様子



説明会の様子 1



説明会の様子 2